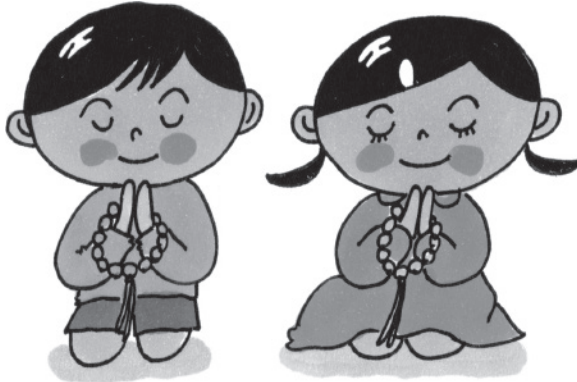


なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



お念珠って
なぜ大切な
の？

お念珠の形って、どうしてわざわざ木の実や石にあなを空け、ひもを通して一つに繋げてあるのでしょうか？

お念珠の親玉（房や紐に繋がる一番大きな珠）を阿弥陀さまにたとえて、バラバラな珠（たま）をグイッと引き寄せて「われにまかせよ、かならずすくうぞ」と抱き止めてくださっているお姿を表しているのでしょうか？

ひとつ一つみんな違ういのち（珠）は、願い（紐）によって繋がっているんだよ、という意味なのではないでしょうか？

あるいは、バラバラに見えていても、全てのいのちはもともとひとつなのだよ、と教えてくださっているのでしょうか？

お仏壇のない家庭が当たり前になりつつある今日、お念珠は、はじめて手にする子どもたちにとって、見たこともない不思議なものです。親しい大人がお念珠を手にしてお参りする姿に親しんでいるとも考えにくい世の中です。そんな子どもたちには「大切な法具なのだから、投げたり落としたりクルクル回したりしないでね」という保育者の言葉は響きません。歴史的な背景や敬う心を表すためのものだという「大人でもよく解らない説明の仕方」で伝えても子どもには届かないでしょう。

理屈（情報）ではなく、私たち保育者がお念珠を大切に扱い、ていねいに礼拝する姿勢を子どもたちに示すこと。バーチャル（情報）で伝えるよりもリアル（実際の敬うすがた）で伝えるほうが、お念珠に対する子どもの興味・関心を誘います。そして「お念珠は大切に扱うべきものなのだ」という意識が子ども自身のなかで自然に芽生えるきっかけになるのではないのでしょうか？

そのために、私たち保育者同士が普段からお念珠に親しみを持てるよう、冒頭のような「正解が一つではない問答」が気軽にできるといいですね。